

## White Board

- ◇日本惑星科学会主催シンポジウム「21世紀へ向けての惑星科学」
- ◇日本惑星科学会入会案内
- ◇学会誌購読申込み
- ◇火星、金星の大気と表面に関する国際シンポジウム

### ◇日本惑星科学会主催シンポジウム「21世紀へ向けての惑星科学」

標記シンポジウムを下記の通り行います。

日時：1993年1月18日(月) 13:00

～1月19日(火) 12:00

場所：東京工業大学国際交流会館

1月18日(月) 13:00—17:30

「惑星科学の将来に向けて」

惑星科学もしくは関連諸分野について何人かの方に講演をお願いする予定です。具体的には以下のようなトピックスを考えています。

地球史と惑星科学	(丸山)
宇宙工学と惑星科学	(未定)
生命起源と惑星科学	(小林)
太陽系天体の天文観測	(渡部)
惑星物質科学	(武田)

元素合成の理論 (野本)

1月19日(火) 9:30—12:00

「惑星探査：どこに行き、何をしたいか」

司会：山本、柳川、中沢

日本・諸外国の惑星探査計画に関する報告

藤村、山本(達)、藤原、他

パネルディスカッション

パネリスト：水谷、川口、松井、留岡、磯部、向井

議論を通じて、日本の将来の惑星探査計画の推進方法、支援体制を検討する予定です。

このシンポジウムには、広く、会員・会員外の方々の参加を歓迎いたします。興味のある方は、参加して積極的に意見を述べて下さい。

### ◇日本惑星科学会入会案内

「日本惑星科学会」が平成4年4月に正式に発足しました。新学会の設立目的は、まず惑星科学それ自体の振興にあります。旧来分野の垣根を取り払い、相互理解や情報交換を積極的に進め、また、異なった手法、異なった対象の研究を集約し総合的な視点にたって惑星科学を推進することが

第一の目的です。また、本格的な惑星探査の時代を迎え、日本の惑星科学界全体として直接、間接に探査計画を支え、さらには将来の探査計画を立案すべく、新学会がその組織化をはかることも重要です。同時に、惑星科学研究の国際的な共同計画に日本の応分の負担と協力が求められている現

在, 新学会が力量を高め, 国際的な窓口としての役割も果すことになると思われます。更には, 惑星科学の成果を社会に還元したり, また, 中・高校生など若い人材を惑星科学に勧誘するための広報活動も新学会の重要な責務です。

このような日本惑星科学会設立の主旨にご賛同くださり, 今後の惑星科学の発展をともに担う広範な分野の方々の入会をお待ちしています(会則は創刊号に掲載されています。また第1期役員名簿は本誌114ページに掲載されています)。

入会の方法は下記の通りです。

年会費: 6,000円(但し, 学生会員は4,000円)

入会手続:

- (a) 入会申込書(本誌巻末に綴込まれています)にご記入の上, 事務局にご送付下さい。
- (b) 運営委員会において入会が認められますと, 事務局より入会受理のお手紙を差し上げます。

- (c) その後, 財団法人日本学会事務センターより年会費請求書が送付されます。請求書に従って年会費をお振り込み願います。なお, 入会受理より年会費請求まで遅延があります(最大2ヶ月程度)が, 会員としての権利は入会受理と共に発生します。

事務局:

- 〒152 東京都目黒区大岡山2-12-1  
東京工業大学 理学部 地学内  
TEL: 03-3720-9885  
FAX: 03-3727-4662
- 〒113 東京都文京区本駒込5-16-9  
財団法人日本学会事務センター  
TEL: 03-5814-5801  
FAX: 03-5814-5820

## ◇学会誌購読申込み

本誌「遊・星・人」は会員外の方でも1号あたり1,750円(含送料)で購読することができます。購読希望の方は, 本誌巻末の「学会誌購入申込カード」に所定の事項をご記入の上, 事務局にお申し込み下さい。なお, バックナンバーについては創刊号から購読できますが, 発行予定のものについては同年内発行のものまで(1992年においては

第3号まで, 1993年以降は第4号まで)となっておりますのでご注意ください。

学会事務局が購読申込書を受け取り次第, 請求書(他必要書類), バックナンバー及び最新刊会誌を送付します。詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

## ◇火星, 金星の大気と表面に関する国際シンポジウム

(International Symposium on Atmospheres and Surfaces of Mars and Venus)

日程: 1993年2月16~17日

(2月16日 9:00~ 宇宙研2階大会議室)

場所: 宇宙科学研究所

問い合わせ先: 清水幹夫(宇宙研・惑星研究系)

TEL: 0427-51-3911 (2529)

FAX: 0427-59-4237

このシンポジウムは文部省, 宇宙科学研究所, NASAの後援によって開催されます。組織委員会

の構成は以下のとおりです。

J. Head (Brown University), H. Mizutani (ISAS), J. Nishimura (Kanagawa Univ. (Chairman)), T. Owen (University of Hawaii), M. Shimizu (ISAS (Secretary)), K. Tsuruda (ISAS) です。

シンポジウムは招待講演(各40分)。セッションのトピックスとしては、  
 Atmosphere and Surface sciences of Mars and Venus  
 Lower and Upper Atmospheres,  
 Meteorology Tectonic,  
 Geology  
 が予定されています。

また、地球型惑星探査のミッション  
 USA: Mars observer, MESUR, Magellan,  
 Russia: Future mission plan (Mars 94, 96…)

ESA: Future mission plan (Mars Network…)  
 Japan: Lunad A (Moon), Planet B (Mars),  
 Soccer (Comet), …

についても講演が予定されています。プログラムの詳細は予定される参加者にお送りする予定です。

なお、10月1日現在、以下の方々の招待講演が決まっております。

Owen (Honolulu), Albee (Pasadena), Leovy (Seattle), Squyres (Ithaca), Nagy (Ann Arbor), Huntress (Washington DC.), Carr (Menlo Park)

以下の方々の参加も予定されています。

Head (New Haven), Someone (ESA),  
 Saunders (Pasadena), Moroz (Moscow)

日本のミッションの計画についての話も日本側参加者から行われる予定です。